

第7回 FMくらら857放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成28年11月17日(木) 15時00分～15時56分

2. 開催場所 ケーブルテレビ株式会社

3. 委員出席

審議委員総数 8名

出席委員数 6名

■出席委員(敬称略)

早乙女 洋 会長(栃木市総合政策部長)

岸 英 司 副会長(栃木商工会議所事務局代行 総務課長)

松 本 静 男 委員(栃木市教育委員会教育部長)

茅 原 剛 委員(栃木市産業振興部長 栃木市観光協会専務理事)

寺 崎 耕 委員(栃木警察署長)

石 田 栄 委員代理(栃木市消防本部次長)

■放送事業者

高 田 光 浩 (ケーブルテレビ株式会社 代表取締役)

小 林 康 行 (ケーブルテレビ株式会社 執行役員兼事業本部長)

大 川 進 (コンテンツ部課長)

石 田 美也子 (コンテンツ部FMグループ係長)

清 水 研 児 (コンテンツ部TVグループ係長)

4. 報告事項

事業運営状況に関する報告に続き、対象番組等について、各委員より感想・意見・疑問点等を挙げていただき、他の委員と意見を交わす形式にて議事を進行した。必要に応じて放送事業者が説明・回答した。

5. 議事

①審議番組

「特別番組 FMくらら857開局1周年 ～栃木市縦断中継キャラバン～」
(平成28年11月3日放送分)

(事務局) 開局一周年の特別ゲストで鈴木俊美市長が出演。また、FMくらら857のPRと1周年を迎えた感謝の気持ちを届けるため、栃木市を縦断する中継キャラバンを実施した。

- (委員) 情報は、相手に伝わって初めて「情報」になる。ラジオは有効なのではないか。開局から1年経ち、市民・市職員にも浸透してきたと実感できた。
- (委員) 滑舌よく聞きやすかったが、高齢のリスナーに配慮し、ゆっくりとした話し方もしてみてもどうか。コミュニティFMは市民生活に密着した災害時に情報提供する拠点として認知度アップが望まれる。
- (委員) 色々な方が出演されるといい。
- (委員) リポートは、栃木市のPRや来場者へのインタビューがもっとあると良かった。
- (委員) 関東・東北豪雨のような災害が起きたらどんな放送ができるかが課題と考える。毎日平日11時から栃木市の番組を放送しているが、市の情報が身近な声で届けられたのではないか。
- (委員) 中継が多く、市民のインタビューが入っていて臨場感があった。

②審議番組

「ゆるキャラグランプリ決選投票 中継リポート」(平成28年11月5日放送分)

- (委員) その時の臨場感が伝わった。聞いている市民もそう思ったのではないか。
- (委員) 中継音声に乱れもなく市民にも興奮が伝わったが、番組が間延びした。とち介を活用した更なるイメージ推進につながるのではないか。
- (委員) ステージやPRブースの雰囲気も伝えられたらより良かったのでは。

6. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

FMくらら857ホームページに掲載(平成28年12月掲載)